

一般質問



橋 高 議員

- 一、松浦市民病院について
二、国民宿舎「つばき荘」について

質問

一、地域医療の中核を担ってきた松浦市民病院ですが、一方で累積赤字に苦しんできた。医療体制をできるだけ維持しながら、再建を図る道として有床の診療所化を決断されたが、診療体制、診療科目等はどうなるか。市民への早急な説明と、病院職員への懇切な説明、不安の解消に努めるよう要請する。



二、福島町のつばき荘を6億円かけて全面建て替える計画があるが、その必要性を問いたい。(1)施設の民間への売却の考えはないか。(2)大規模な補修、改築で済まないのか。(3)施設の管理運営については現在も機能的とは言えない部分があるが、「新つばき荘」の管理委託はどうするか。

答 弁

一、診療科目については、内科、眼科、市内唯一である人工透析治療については、引き続き継続してまいりたい。また、予防医学である健康診断も公的医療機関の重要な業務であることから、診療所で持ちたいと考えている。診療所化を決断したばかりであり、どういう規模、機能にするかということについては、今後詰めるかなければならないが、看護師、医療技術職等の削減という問題も出てくると考えている。現場で働く職員等の不安があるので、早急に人員体制について検討してまいりたい。

二、(1)東の玄関口としての重要な観光拠点と考えており、売却ではなく市で整備して、運営を指定管理者制度を導入し、民間でやっていただくのが最良と判断した。(2)耐震化やバリアフリー化がなされていないこと、今後の利用を考えた場合、よりコンパクトな施設規模がいいということから、全面建て替えを決断した。

(3)適切な管理運営がされていると考えている。建設後の一切の管理運営は、指定管理者制度を導入し、指定管理料は払わないことで運営したい。

一般質問



枝 久 議員

- 一、磯やけ対策と磯遊び場提供について
(特に志佐川河口)
二、市民運動公園における駐車場とトイレ(下水道接続時)の改築について

質問

一、(1)松浦市では「磯焼け」している場所はないとの担当課の認識であるが、「磯焼け」の定義はどのようなに解釈しているのか。(2)志佐川河口にハマグリ、アサリ等をまいて、市民に磯遊び場を提供する考えは。

(3)国の磯焼け対策費は平成19年度890億円、20年度830億円であり、認定されれば最高2千万円から最低でも300万円が出されるとのことである。この資金を活用して磯焼け対策を講じる必要があると思うがどうか。(4)ワカメ、昆布類は鉄分を好むとのことであり、不要になった鉄鋼スラグを有効に活用して、志佐川河口を復興させることができるか。

二、市民運動公園のトイレが汚く、2カ所では維持費もかかる。潮見団地側に用地を確保して、一カ所に集約し、あわせて駐車場も拡大してはどうか。緊縮財政ではあるが、市民のスポーツや健康増進のためには、きちんと手当をすることで市民の活気も出てくると思います。

他に、教育、文化、スポーツ等功労者制度設置と福島国民宿舎つばき荘について質問しました。

答 弁

一、(1)沿岸の海域に生息する海藻類が、一時的、季節的な増減の範囲を超えて減少した状態が継続する現象ととらえている。市内でも局所的に磯焼け状態が見られるところもあるが、総体的に回復傾向にある。(2)志佐川の河口に親水域を造成する計画があり、県とも協議してきたが、事業費も膨大になることから保留している状況である。(3)現在、試験的に行っている取り組みに加えて、早速調べさせていただきたい。(4)志佐川ということではなく、伊万里湾にとって大事なことを考える。漁協、県の漁業改良普及センター等の関係者とよく協議してみたい。

二、トイレの改良については、ご提言も踏まえて、来年度の下水道の接続工事とあわせて整備を進めることで検討している。また、駐車場整備については、今議会の一部土地買収も含めた補正予算をお願いしており、今年度末までに20数台の駐車スペースを確保できる見込みである。